

# Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 103 2011. 04. 11.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

## 想定を超えた地震でも脱線防ぐ、「安全神話」は健在！？

3月11日、東日本を襲った巨大地震によって東北・関東各地に甚大な被害が発生しました。JR東日本の東北新幹線でも地上設備等に約1200カ所の被害を受け、新聞報道等で全通するのに4月下旬までかかると言われています。

大きな被害を受けましたが、幸い東北新幹線を始め各新幹線では営業運転中の電車の脱線はまぬがれました。そのため「東北新幹線『安全神話』は健在、想定を超えた地震でも脱線防ぐ」と報道されました。

一方、何重もの事故・災害対策で『原発の安全神話』という言い方もあった原発ですが、皆さんご存じの通り福島第一原子力発電所の問題でもろくも崩壊し、国や保安院、東電などは記者会見等で「予想以上…」「想定外…」という言葉を使い今回の地震による災害はしかたなかったように言っています。

果たして想定できなかったのでしょうか！？

地球規模で考えると過去50年ほどの間だけでも「チリ地震(1960年:M9.5)、アラスカ地震(1964年:M9.2)、スマトラ地震(2004年:M9.3)」とM9.0を超える地震が起きており、万が一にも事故が発生してはならない原発で、しかも地震国日本として想定していなかったではすまされないのではないかと思います。

## 東海地震発生でも東海道新幹線の安全神話は守れるか！？

今回の巨大地震は、三陸沖が震源でしたが、今後30年間に87%の確立で発生することが予想されている東海地震が起きたらどうなるのでしょうか！？

高嶋哲夫著「TSUNAMI 津波」という震災パニック小説で東海地震が発生し、長周期震動によって高層ビルが倒壊したり、空港が津波に呑み込まれたり、新幹線が脱線・転覆、そして原発での事故とパニック小説ならではという感じで、次々と甚大な被害が書かれています。しかし、今回の東日本大震災はこの小説をも超えていると言え、東海地震が発生した場合に小説に書かれている甚大な被害は決して絵空事ではなく、現実味のあることと思えます。

東海地震の想定震源域の真ん中に浜岡原発があります。もちろん対策は取られているでしょうが震源地に近いので福島原発以上に危険な存在になっています。ちなみに今回の福島原発問題で避難指示が出ている20km圏内を浜岡原発に置き換えてみると20km圏内に東海道新幹線が走っていることがわかります。

東海道新幹線に関しては、耐震補強(高架橋・盛土区間)、地震防災システム(テスラ)、脱線逸脱防止(脱線防止ガード・逸脱防止ストッパ)等々の地震対策が取られており、一見対策が進んでいるように見えますが、今回の大震災のように巨大津波が発生したらどうなるのでしょうか？

特に浜名湖付近は非常に海に近い場所を東海道新幹線が走っており、気象庁による東海地震の津波想定では、この浜名湖付近で5~10mの津波が想定されており、大変危惧されるところです。

## 東日本大震災を教訓に東海地震対策の更なる強化を！！